

第20期 郡山市農業委員会委員の推薦及び応募状況（令和6年3月15日現在）

一般推薦（個人による推薦）

No.	被推薦者								推薦者					
	氏名		職業	農業経営の状況				認定農業者の認定	代表者氏名	性別	年齢	職業	推薦委員への推薦	
	性別	年齢		営農年数	営農類型	主な経営作物	経営耕地面積		氏名					
			市内での営農実績					氏名						
職歴(在職期間、職名・役職・委員名等)				地域活動の取組(取組期間、取組内容)			アピールポイント(資格、得意な農業分野など)		推薦理由					
抱負				職務で最も重要と考えること										
1	鈴木 雄一	男	満57歳	農業	39年 あり	水稻+ハウス野菜	米、ぶどう	水稻65ha	認定されている	大城 宏之	男	満67歳	郡山市議会議員	推薦していない
	563.4.1~ R3.8.10~			就農 農地利用最適化推進委員（第2期）	563.4.1~H17.3.31 H17.4.1~H19.3.31	消防団安積地区隊第3分団所 属 消防団安積地区隊第4分団所 属		長年、水稻を作付しているため、その分野は得意であります。また、最近ぶどうの栽培を始めたことから、昨今の気候変動による温度管理等の知識や経験を教えることはできません。 車両系建設機械運転者の免許を取得しているため、簡単な農地の整備は可能であります。	鈴木雄一氏は、高校卒業以降、家業である農業に従事しており、地元消防団に長く在籍し、その活動を通じて地区住民の方とも交流し、地元からの信頼も厚い人物である。 鈴木家は、代々農業を営み、作付け等を受託し経営の大規模を図るとともに、水稻以外にぶどうを栽培するなど、農業の多角化にも努めている。また、祖父及び父親も農業委員を歴任している家庭で、氏はその農業後継者として地区を代表する認定農家である。 以上のことから、安積地区有志としては、同氏を農業委員として推進します。					
	一般的に、農業経営に明るいイメージを持たれない方が多いため、マイナスのイメージを払拭できるような農業ヘシフトチェンジしていく必要がある。そのためには、労働の省力化やICTを利用したスマート農業の積極的な導入などを推進し、新規就農者を増やしていくことが重要になると考えております。 農業委員に就任した際には、農地利用最適化推進委員就任中で得た知識や経験を活かし、法律や制度への理解をさらに深めて自己研鑽に努め、関係機関と連携し情報の共有化、及び新規就農者の就業機会や農地の集積化の促進を図るなど、地元の農業の継続・発展に寄与するよう尽力し、「地域の農業を守る」を自分のスローガンとして業務に邁進していきたいと考えております。				現在、農業従事者の高齢化が進み、耕作放棄地の増加が懸念されていることから、遊休農地の発生防止・解消に努めるとともに労働力の省力化やICTを利用したスマート農業の積極的な導入などを進め、それらの情報の共有や発信することが必要であると考えております。 また、農地の集積化や後継者の育成を推し進め、特に「地域計画」の取り組みは地域農業の発展を促進するためには重要と考えております。									
2	須藤 佳英	男	満45歳	農業	6年 あり	水稻+果樹+野菜(施設&露地)	水稻、醸造用ブドウ、トマト、ミニトマト(施設)、さつまいも、いんげん	410a	認定されている	吉田 秀吉	男	満72歳	農業	推薦していない
	H13.4.1~H22.12 H23.7~H29.9 H30.3~			コナミスポーツクラブダイビングスクールインストラクター、社員 マールダイバーズパラオダイビングショップマネージャー 自宅に就農	R2.4.1~現在 H30.4.1~現在 R5.4.1~R6.3.3	中山間地域等直接支払制度田 母神集落事務局庶務 田村地区第5分団第一班員 田村町田母神地区姉屋班長	持っている資格で農業に役立てそうなものは残念ながらありませんが、長くサービスをやっていたので「人を繋ぐ」ことは得意だと思っております。かつて農業委員会主導の婚活イベントに参加したことがありますが、そのような農家さんが楽しめるようなイベント企画などでもできる範囲で考えることができると思います。それと水稻、施設や露地野菜、果樹と色んな作付けをしていますので新規就農者をやってみてみたい方にアドバイスできることもあるかなと考えております。	地域の担い手であり、稲作、ぶどう、トマトを生産しており模範的農業者であるため農業委員として適任者である。						
	新規就農して6年、認定農業者になって1年が経ちました。この数年でもまわりで離農する方が多く、担い手として田んぼや畑を任せられるようになってきました。私は幸運なことに親元就農という形で地元に戻ったので、数十年ぶりとはいえ知っている方が多く土地の貸し借りに関しきほどのトラブルなどはありませんでした。しかし新規で研修で始める方は土地や農機、勿論収入などの面で数年で離農を考える方が多いと聞きました。若すぎず中年ではありますが、持ち前のバランス能力で新規の方と頑固な方が多い諸先輩方の橋渡しをして、郡山市及び広域圏、県全体の農業が盛り上がるように努力と研鑽を深めていきたいと考えております。				郡山市の端っこに住んでる者としては、遊休農地の発生防止、解消や、担い手への集約が肝だと考えております。中山間地域等直接支払制度の地区役員もやっているのですが、やりたいけど高齢を理由に離農を考えている方が多いのを実感しております。担い手への集約は当たり前として、かつての兼業農家のように農家のお子さんに少しでも田んぼをやらせてもらおうとか異業種の会社の農業進出のお手伝いなど農業委員の見識と行動力があれば農地維持及び拡大も考えられると思えます。									

第20期 郡山市農業委員会委員の推薦及び応募状況（令和6年3月15日現在）

団体推薦

No.	被推薦者								推薦者		
	氏名		職業	農業経営の状況				認定農業者の認定	法人又は団体の名称		
	性別	年齢		営農年数	営農類型	主な経営作物	経営耕地面積		所在地		
			市内での営農実績	代表者又は管理者の氏名				構成員の数	推進委員への推薦		
	職歴(在職期間、職名・役職・委員名等)			地域活動の取組(取組期間、取組内容)			アピールポイント(資格、得意な農業分野など)		法人又は団体の活動目的		構成員の資格、要件等
抱負				職務で最も重要と考えること				推薦理由			
1	國分 伴尚	農業	22年	複合経営	花木、水稻、農産物加工所	花木29ha 水稻1.2ha 野菜等0.2ha	認定されている	片平町区長等連絡協議会			
	男		満40歳					あり	郡山市片平町字町南7番地の2		
	H14.2.1~H17.2.28 H17.7.1~H20.3.31 H20.4.1~H26.5.31 H26.6.1~	株式会社 ケンテツ 國尚代表自営（農業兼一般土木） 國尚代表自営・兼農業法人うねめ農場 國尚代表自営（花木・農業・一般土木・農産物加工所）	H9~ H20.6.1~ R2.10.1~	郡山市少年団体中級指導者取得 郡山市青少年育成指導員 安積疏水総代	私は、農業従事者の高齢化等により取り囲む環境は、ますます厳しいと考えることから花木の取り扱いを中心とした経営で東京の花やさんと取引している関係を大事にしたい。また、経営の多角化が必要であることから（加工所等）農業経営と地域生産者との連携に努めたい。	1 各種行政連絡事務 2 地域振興のための諸活動に参加するとともに必要な助成等を行う 3 地域振興に必要な陳情その他請願を行うものとする 4 研修情報交換その他親睦を図るため必要な懇親会を開催する	片平町の区長及び蟻塚区副区長をもって構成する。				
①法令に基づいた、農地の売買・賃借等権利関係に関わることから公平、公正に審議していきたい。 ②農家の実情を把握しながら農業後継者の育成・荒廃農地の保全等農業の振興に尽力したい。				①地域の実情を把握して地域にあった農業政策が重要と考えている。 例) 農地の集約を進めているが、現実的には、集約が進んでいない様に見受けられる。所有者が委託先を選んでいる。 ②山林に隣接する田畑は、獣害による深刻な被害が発生しており、その対策を行うため地域の生産者と連携して活動したい。				被推薦人は、22年前から農家の後継者として兼業農家として農業に従事し、H20年度からは6年間、農業生産法人に入社して大規模農家の従業員として勤務しており、また、安積疏水の総代として農業問題を始め地域の実情を把握しており、あらゆる分野の地域と経験があり、農業委員の活動に大変活躍が期待できると考え推薦します。			
2	濱尾 文博	農業	32年	水稻+施設花き	水稻、花き	水稻10ha 花き10a	認定されている	富久山地区農業再生協議会			
	男		満55歳					あり	郡山市富久山町福原字泉崎181-1		
	H4.4.1~ H30.8.10~R3.7.31 R3.8.1~	就農 郡山市農地利用最適化推進員 郡山市農業委員	H5.4.1~ H11.4.1~	郡山市消防団 郡山農業青年会議所	水稻の省力化栽培 花(バラ)の栽培	農業者の安定した経営能力を養い地位の向上を図る。	富久山地区に在住する農業従事者				
・地域活動で得た情報・人脈を基に農地の適正管理につとめたい ・地域計画により農地の集積につとめ、担い手の確保につとめたい				・耕作放棄地を出さないために、地域計画により担い手に農地を集積する ・農地の無断転用を出さないよう周知徹底をする。				都市化が進む地域で中心的な経営体として水田農業を支えながら富久山地区では農地の整備がされていない地区が多く将来担い手がなくなる事を懸念し、山田地域環境保存会を立ち上げ農地整備を続けてくたてさらに指導農家として若い農業者の育成をはじめ、活性化に尽力し地域活動を通して農地の利用調整など役割を充分できる人と期待できる。			

3	濱津 洋一	農業	24年	水稻+露地野菜+施設野菜	米、トマト、きゅうり、人参、玉ねぎ、さつまいも	水稻85a 野菜80a	認定されている	金屋・農地水資源管理委員会		
	男		満67歳					あり	郡山市田村町金屋字宝蔵96	
									副会長 鈴木 卯市	72人
	S54.4.1~H12.4.30 H12.5.1~ H25.8.1~	福島県南酒販(株)就職 就農 郡山市農業委員	H27.4.1~ R4.4.1~R5.3.31		金屋農地水資源管理委員会役員 金屋第一町会役員		就農以前に20年間第3次産業の会社員を経験し農業者とは違った見識で農業を捉えられる。郡山ブランド野菜協議会等農業者組織の会員として、市内の農業者と切磋琢磨しながら農業に取り組んでいる。	田村町金屋地区の農地・水路・農道等の地域資源を適切に保全管理する。		田村町金屋地区に在住する農業従事者
	<ul style="list-style-type: none"> 「地域計画」策定・実行の推進に努める。 「遊休農地」の発生防止及び解消を進める。 新規就農者の確保・育成に努める。 「兼業農家」や「小規模農家(家族経営)」の代弁者となる。 			<ul style="list-style-type: none"> 農地法等の許可業務に対して、法を順守し適切に行う。 農業者との意見交換により、関係行政機関へ、意見の提出を行う。 関係行政機関等からの情報を農業者に伝える。 			<p>地域農業の将来を見据えた活動に積極的に関わりを持って行動・活躍しております。更に、広い見識に立ち郡山市全体の農家に対しても、取り巻く環境変化に柔軟に対応すべく取り組んでおり、農業委員として有用な人材の為、推薦します。</p>			
4	安藤 嘉行	農業	11年	水稻	米	水稻30ha	認定されている	三穂田町区長会		
	男		満41歳					あり	郡山市三穂田町川田字元前田117	
									会長 佐藤 惣一	12人
	H18.4.1~H25.3.31 H25.4.1~ H28.4.1~ R3.8.10~	榑神明 就農 銜安積ライスファーマーユニオン 農地利用最適化推進委員	H26.4.1~ H26.4.1~ H30.1.31~ H31.4.1~		消防団三穂田地区隊 郡山農業青年会議所 福島県青年農業士 郡山ブランド野菜協議会		<ul style="list-style-type: none"> 大型特殊免許(農耕車) けん引免許(農耕車) フォークリフト運転技能 水稻(米)の生産から販売にかけての知識、農地利用最適化推進委員を務めていた経験は役に立つと思えます。	三穂田町各地区間相互の連携調整を密にし、市政の推進に積極的に協力し地域発展の充実と福祉の向上に寄与する事を目的とする。		三穂田町各地区の区長とする。
	<p>まだまだ地域では若輩者で、知らないことも多いのですが、活動を通して地域や市での農業に関する様々な問題と向き合うことで、理解を深め、多くの農家の円滑な経営のため尽力していきたいです。</p>			<p>農地に関する要望や意見などを調整し、地域の担い手育成の手助けをすること。</p>			<p>近年農業は農業就農人口の減少さらに現役人口の高齢化と後継者問題に直面し、このような現状を踏まえ今後農業振興を図るため農業担い手その他関係者と密となり農業集積に努めるサポートが求められる。農業の高齢化、後継者不足問題を克服するため新規就農者を育成するため包括的な体制構築が必要であり地域のリーダーとして推薦いたします。</p>			

5	伊藤 城治	農業	28年	水稻+施設野菜	米・トマト	水稻10ha 野菜2a	認定されている	三穂田町区長会		
	男 満68歳		あり					郡山市三穂田町川田字元前田117		
								会長 佐藤 惣一	12人	推薦していない
	H22.4~H24.3 H23.4.16~H28.2.28 H28.3.1~ H28.4.28~ H24.8.1~	郡山市農協野菜部会三穂田支部長 郡山市農協総代 福島さくら農協総代 福島さくら農協郡山地区野菜部会長 郡山市農業委員	H28.4.1~ R2.1~R5.12		里地域資源保全会副会長 富岡区協議員		施設野菜のトマト栽培の知識と経験を活かした新規就農者や後継者への助言や地域活動を通じた後継者の育成、担い手の確保に貢献する。	三穂田町各地区間相互の連絡協調を密にするとともに、市行政の推進に積極的に協力し、地域発展の充実と福祉の向上に寄与することを目的とする。		三穂田町各地区の区長とする
	農業委員として活動してきた経験を活かし、三穂田地区基盤整備事業の推進、地域計画の策定・推進により、農地の集積による経営規模の拡大や集団化を図る。また後継者育成や新規就農者への就業支援などによる担い手確保を推進していきたい。			<ul style="list-style-type: none"> ・地域計画や中間管理機構との連携を図り、担い手への集積・集約化を図ること。 ・後継者の育成や担い手の確保、新規就農者の確保支援。 ・遊休農地の発生防止と解消など優良農地の確保と非農地判断。 ・これらを進めるための情報の収集、提供、支援活動。 			近年農業は農業就業人口の減少さらに現役人口の高齢化と後継者問題に直面している。このような現状を踏まえ今後農業振興を図るため農業担い手その他関係者と密となり農業集積に努めるサポートが求められる。長年の農業委員活動により新規農業者育成、後継者問題をを行い包括的な体制構築のリーダーとして推薦します。			
6	佐久間 俊一	農業	48年	水稻・施設園芸	水稻、水稻種子、苺	20ha	認定されている	福島さくら農業協同組合		
	男 満68歳		あり					郡山市朝日二丁目14番7号		
								郡山統括センター統括部長 小泉 昭光	71,813人	推薦していない
	S49.4.1~ H24.8.1~ R2.11.1~	就農 郡山市農業委員 安積疏水土地改良区理事	S50.4.1~H22.3.31 H22.4.1~R4.3.31 H28.3.1~R4.3.31 H27.3.30~R5.7.31		郡山消防団員 JA郡山地区稲作部会会長 福島さくら農畜産物協議会会長 喜久田土地改良区理事	<ul style="list-style-type: none"> ・大型2種・けん引・大型特殊・自動2輪免許証・ガス溶接技能講習・車両系建設機械技能講習修了証 郡山市青年農業士・福島県指導農業士を経験 ・郡山市及び福島県農業賞を受賞 	<p>【経営理念】農業の振興と地域社会への貢献～「緑の輝き」「地域の輝き」～</p> <p>【経営方針】より身近に、より信頼されるJAづくりの実践</p> <p>わたしたちは、地域の農業を振興し、ふるさとのかけがえのない自然を守り、健康で心豊かな暮らしづくりを応援します。そして、愛され信頼されるJAをめざして、誠実に着実に歩みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農業を営む個人、法人で住所・施設・農地の何れかが組合の地区内にある。 ・1年で30日以上農業に従事する個人で住所・施設・農地の何れかが組合の地区内にある。 ・組合の地区内に住所を有する個人。 ・組合の事業を1年以上継続利用している地区外の個人。 		
	「地域計画」の策定を急ぐとともに後継者不足の中で担い手への農地の幹旋・集積・集約化を積極的に取り組んで本市農業の発展と農家の経営の安定を図りたい。			農地法を遵守し、農地の荒廃や違反転用を防ぎ、農家経済の安定を図ること。			郡山市農業委員会委員の任期満了に伴い、新委員候補者に「佐久間俊一」氏を推薦します。佐久間氏は20歳から就農され、施設園芸による苺、水稻、水稻種子の周年栽培経営を行っており、地域の農業の担い手として積極的に取り組んでおります。また、地元消防団、JA福島さくら郡山地区稲作部会長、JA福島さくら農畜産物協議会会長、喜久田土地改良区理事等を歴任され、今現在農業委員会会長の重責を担っており、地域社会に大きく貢献する活動をされています。本人の抱負に、「地域計画」の策定、担い手への農地の幹旋・集積・集約化を積極的に取り組んで本市農業の発展と農家経営の安定を図りたいとありますが、この課題を着実に実行できる最良の人材であることは、誰もが認める方だと思料します。			

7	<table border="1"> <tr> <td>藤田 稔</td> <td rowspan="2">農業</td> <td>58年</td> <td rowspan="2">水稻+露地野菜</td> <td rowspan="2">水稻+露地野菜</td> <td rowspan="2">32ha</td> <td rowspan="2">認定されている</td> <td colspan="3">安子島区</td> </tr> <tr> <td>男 満68歳</td> <td>あり</td> <td colspan="3">郡山市熱海町安子島字桜畑58番地</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>副区長 片岡 正光</td> <td>320人</td> <td>推薦していない</td> </tr> </table>	藤田 稔	農業	58年	水稻+露地野菜	水稻+露地野菜	32ha	認定されている	安子島区			男 満68歳	あり	郡山市熱海町安子島字桜畑58番地										副区長 片岡 正光	320人	推薦していない	<p>S49.3～ H12.5～H15.5 H15.5～H21.5 H24.8.1～</p> <p>就農 郡山市農業協同組合 理事 郡山市農業協同組合 経営管理委員 郡山市農業委員</p> <p>H10.8.20～ H16.2.3～R2.3.25 H26.8.10～R5.4.23 H30.2.3～R5.2.5 R5.2.5～</p> <p>安子島米生産倶楽部部長 福島県指導農業者 安子島地域資源保全会会長 安子島区副区長 安子島区区長</p> <p>・50年以上の農業経験があるので、経験の浅い若手農家のアドバイスが出来る。 ・各種免許（大型特殊等）を持っているので、取得方法の解説や免許活用のアドバイスが出来る。</p>	<p>区域住民の生活環境の向上及び、行政運営の円滑な遂行に寄与することを目的とする。</p> <p>この区は、安子島区域内に居住する者をもって組織する。</p>
	藤田 稔	農業		58年					水稻+露地野菜	水稻+露地野菜	32ha	認定されている	安子島区															
男 満68歳	あり		郡山市熱海町安子島字桜畑58番地																									
							副区長 片岡 正光	320人	推薦していない																			
<p>・地域内の農地を適正に保全・活用し、利用の最適化と遊休農地の解消を図ります。 ・担い手の発掘育成に努め、新規就農の支援とともに農地の有効活用を推進します。 ・農地法に基づき、権限事務について適正に審査・審議・決定を行います。また、そのためにも正確な聞き取り調査及び現地調査を行います。 ・食農教育等を通じ、次世代に農業の大切さと素晴らしさを伝えます。</p>	<p>・農地法等の権限事務について、適正な審査及び決定を行う事。そのためにも、農地法を常に学習・理解し、適正な調査や審査を行う事。 ・市内の農地の利用状況及び利用意向調査を行う。現地に赴き、所有者・耕作者の話をしっかりと聞き、農地利用の最適化を図っていくこと。 ・現実に耕作している方々の相談のり、一緒になって問題の解決を図っていくこと。ならびに、新規就農希望者及び若手農家の支援に努力し、担い手への農地の集積・集約を図ること。</p>	<p>・農業委員として地域の農地の適正な保全と有効活用に努力している。 ・遊休農地の解消とともに、新規就農支援等に努力している。 ・区長として地域住民の支援とともに、農業及び農地の相談を受けている。 ・学校支援員として「すくすく水田」の管理と食農教育を担っている。 ・「安子島地域資源保全会」前会長として、地域農業環境の保全に努め、地域住民の農業環境保全への意識を高めている。 以上、農業委員として適格と判断し推薦する。</p>																										
8	<table border="1"> <tr> <td>小林 正一郎</td> <td rowspan="2">農業</td> <td>37年</td> <td rowspan="2">水稻+施設イチゴ</td> <td rowspan="2">米、イチゴ</td> <td rowspan="2">水稻30ha+ハウス10a</td> <td rowspan="2">認定されている</td> <td colspan="3">福島さくら農業協同組合</td> </tr> <tr> <td>男 満59歳</td> <td>あり</td> <td colspan="3">郡山市朝日二丁目14番7号</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>郡山統括センター統括部長 小泉 昭光</td> <td>71,813人</td> <td>推薦していない</td> </tr> </table>	小林 正一郎	農業	37年	水稻+施設イチゴ	米、イチゴ	水稻30ha+ハウス10a	認定されている	福島さくら農業協同組合			男 満59歳	あり	郡山市朝日二丁目14番7号										郡山統括センター統括部長 小泉 昭光	71,813人	推薦していない	<p>S60.4.1～H3.8.31 H3.9.1～ H24.8.1～</p> <p>JA郡山市 営農指導員 就農 郡山市農業委員</p> <p>S63.4.1～R4.3.31 H20.3.1～H24.2.28 H21.3.1～H24.2.28 H26.4.1～</p> <p>郡山市消防団片平地区隊所属 JA郡山市農青連委員長 JA郡山市経営管理委員 福島県指導農業者</p> <p>ICT（クボタKSAS）を活用し、水稻を30ha栽培しています。データ分析を基に効率的な経営に取り組んでいます。</p>	<p>【経営理念】農業の振興と地域社会への貢献～「緑の輝き」「地域の輝き」～ 【経営方針】より身近に、より信頼されるJAづくりの実践 わたしたちは、地域の農業を振興し、ふるさとのかけがえのない自然を守り、健康で心豊かな暮らしづくりを応援します。そして、愛され信頼されるJAをめざして、誠実に着実に歩みます。</p> <p>・農業を営む個人、法人で住所・施設・従事する農地の何れかが組合の地区内にある。 ・1年で30日以上農業に従事する個人で住所・施設・農地の何れかが組合の地区内にある。 ・組合の地区内に住所を有する個人。 ・組合の事業を1年以上継続利用している地区外の個人。</p>
	小林 正一郎	農業		37年					水稻+施設イチゴ	米、イチゴ	水稻30ha+ハウス10a	認定されている	福島さくら農業協同組合															
男 満59歳	あり		郡山市朝日二丁目14番7号																									
							郡山統括センター統括部長 小泉 昭光	71,813人	推薦していない																			
<p>優良農地を守っていききたいと思います。違反転用の防止と解消。</p>	<p>優良農地を守る事、担い手への農地利用の集積、集約化、遊休農地の発生防止、解消、新規参入の促進を関係機関と連携し、活動したいと思います。</p>	<p>郡山市農業委員会委員の任期満了に伴い、委員候補者に「小林正一郎」氏を推薦します。小林氏は、稲作を主体として施設野菜の周年栽培経営を行っており、地域の農業の担い手として積極的に取り組んでおります。また、地元消防団地区隊長、JA郡山市経営管理委員、農青連委員長等を歴任され地域社会に貢献する活動をされております。本人の抱負に、優良農地を守り違反転用の防止・解消とありますが、この課題を着実に実行できる人材であると思料します。</p>																										

11	松川 賢弘	会社役員（農業）	14年	水稻、野菜	水稻、露地野菜	水稻10ha＋ 露地野菜20ha	認定申請中	株式会社LEOC		
	男	満36歳	あり					東京都千代田区大手町1丁目1番3号大手センタービル17階	執行役員 田中 亨弥	23,123人
	2010.4.1～ 2011.10.1～ 2012.8.31 2012.9.1～	アグリ福島有限会社入社、就農 安徽安居楽農科技有限公司生産部副 部長【出向】 アグリ福島有限会社 海外事業部	2023.5.1～ 2024.1.1～		郡山商工会議所青年部 日本商工会議所青年部 国際ビジネス委員会			お客様に喜びと感動を パートナーに成長と幸福を 社会に貢献を	「食を通じてお客様 に喜びと感動をお届 けたい」という思 いを持った方	
		農地の有効活用と大規模化を1番の目標に掲げて活動いたします。特に水田の有効活用の点で、水稻の輸出米を普及させたいと考えております。生産コスト低減のためには、農地集約と圃場の大規模が必要になります。そのためにも大規模化を目指す生産者支援し、高効率の営農をできる環境整備を進めていきたいと考えております。		1、農地利用の最適化：耕作放棄地・遊休地解消、適地適作の推進をしていきます。そのために人材確保・販路拡大のサポートも合わせて行うこと 2、地域農業者との密なリレーションと情報収集：農地の質し手（売手）と借り手（買手）の橋渡し 3、迅速な農地転用許可判断：農業を行うために必要な建屋建設等に関して発生する農地転用許可申請を多方面から審査し公正な判断を迅速に行うこと				弊社取引先から福島復興事業の一環として、福島県産米を採用したいとお話を頂きました。兼ねてから松川様とはお取引があったためその旨をお伝えしたことから弊社と福島県との関係が生まれました。弊社は全国に約2,700カ所以上に食事を提供する事業を行っているため、松川様の企業一社で全量を受注することはできませんでしたが、その際福島県内でのお米の調達方法やネットワーク構築など福島県産米を取扱っているよう多大なるご支援をいただきました。弊社も引き続き福島県産米の取引量を増やしていく計画があり、郡山市内の農地の有効活用・大規模化を推進して頂きたく存じます。松川様は海外経験も豊富であり、海外人材・果物輸入事業でもご支援頂いており、農業従事者でありながら、国際的な視野を持った貴重な人材です。郡山市農業委員会へ選出されたあかつきには松川様ご持った郷土愛、提案力、ビジネス力が郡山市農業の発展のため活かされると考えここに推薦いたします。		
12	古川 弘作	農業	31年	水稻	水稻	水稻:188a	認定されていない	福島さくら農業協同組合		
	男	満55歳	あり					郡山市朝日二丁目14番7号	郡山統括センター統括部長 小泉 昭光	71,813人
	H1.4.1～H14.3.31 H5.4.1～ H14.4.1～H18.3.31 H17.8.15～ H30.8.1～	郡山市農業協同組合 営農指導員 就農 有限会社サンネット主任 有限会社サンウィル代表取締役 郡山市農業委員	H2.4.1～ H4.3.1～ H15.4.1～ H21.4.1～H24.3.31 H23.4.1～ R2.2.7～		郡山市消防団郡山西地区隊 地区隊長（現在は顧問） 農青連大槻支部 支部長（現在は顧問） 大槻東地区防犯協会副会長 町内会総務副部長並びに班長 福島県立郡山高等学校PTA会長 （歴代会長会副会長 PTA会長は26年2月28日迄） 長泉寺 総代	農業に関連する資格では、営農技術上級・専物劇師・家畜商・家畜人工授精師・和牛登録検査員・危険物・大型特殊・フォークリフト等の資格を有し13年間の営農指導員として大槻地区のほとんどの農家を知っている。 得意な農業分野としては、水稻で現在、ASAKAMA1887生産部会の会長を任されておりFGAPも取得し高い技術力と指導力で、安全安心で国内トップクラスのおいしい米を作る生産部会を目指している。	【経営理念】農業の振興と地域社会への貢献～「緑の輝き」「地域の輝き」～ 【経営方針】より身近に、より信頼されるJAづくりの実践 わたしたちは、地域の農業を振興し、ふるさとのかけがえのない自然を守り、健康で心豊かな暮らしづくりを応援します。そして、愛され信頼されるJAをめざして、誠実に着実に歩みます。	・農業を営む個人、法人で住所・施設・従事する農地の何れかが組合の地区内にある。 ・1年で30日以上農業に従事する個人で住所・施設・農地の何れかが組合の地区内にある。 ・組合の地区内に住所を有する個人。 ・組合の事業を1年以上継続利用している地区外の個人。		
		JAの営農指導員や農青連活動等で培った指導力や人脈を活かし郡山市の農業発展の為尽力したいと思います。 近年農家の高齢化、若者の就農離れが急激に進んでおり条件の悪い遊休農地もまた増加傾向にあります。 今後、新規参入の促進・担い手の育成や土地集約・補助事業の有効活用など、関係団体と連携協力し積極的に農業委員活動をしたいと思います。		農地の遊休農地化を防ぎ、担い手の農家に農地を効率的に集約することや違法転用を防ぐ事が最も重要な職務と考えます。				この度農業委員に推薦致します古川弘作氏は、福島県立農業短期大学を卒業後、JA福島さくら（旧大槻農協）に入組し、営農指導員として13年間活躍し、農青連の支部長やJA福島さくら大槻支店の副部長、そして現在はASAKAMA1887生産部会長を歴任されております。農業に関する見識や地域農業にも精通され、農家からの人望も極めて厚く、今日の課題であります担い手農家への農地集約・集約化、耕作放棄地の防止に適切かつ確実に実行できる人材であると考えており、当JA福島さくら郡山統括センターとして当該人を強く推薦致します。		

13	池上 慎一郎 男 満43歳	農業	15年 あり	施設園芸、露地野菜	トマト、きゅうりを促成、雨よけ、抑制の周年栽培 露地：曲がりネギ、ブロッコリー、キャベツ、枝豆、大根等	ハウス40a (加温、無加温含む)、 露地1ha	認定されている	福島さくら農業協同組合 郡山市朝日二丁目14番7号 郡山統括センター統括部長 小泉 昭光 71,813人 推薦していない
	H11.3.21~H21.3.20 H21.3.21~	AGCエレクトロニクス 農業	H12.4.1~ H21.4.1~ H22.4.1~ H30.8~R2.8 R3.8~	現 消防団東地区隊安原班班長 阿武隈川河川樋門担当 青年農業士、元 福島県副会長 農地利用最適化推進委員 農業委員	施設園芸を中心とした経営を行っており、新規就農者のメンターも実施しており栽培のアドバイス等をおこなっていきたい。	【経営理念】農業の振興と地域社会への貢献～「緑の輝き」 「地域の輝き」～ 【経営方針】より身近に、より信頼されるJAづくりの実践 わたしたちは、地域の農業を振興し、ふるさとのかけがえのない自然を守り、健康で心豊かな暮らしづくりを応援します。そして、愛され信頼されるJAをめざして、誠実に着実に歩みます。	・農業を営む個人、法人で住所・施設・従事する農地の何れかが組合の地区内にある。 ・1年で30日以上農業に従事する個人で住所・施設・農地の何れかが組合の地区内にある。 ・組合の地区内に住所を有する個人。 ・組合の事業を1年以上継続利用している地区外の個人。	
				農業委員の経験を活かし、地域計画を推進し地域農業者とコミュニケーションを積極的に回り遊休化しそうな農地を早期発見し、農地の集約・集積に取り組んでいきたい。 また、消防団・青年農業士の若手農業者の問題や課題を農業委員会を通して郡山市へ要望等を出して、パイプ役として貢献していきたい。	農業者の発展 新規就農者の安定経営の為に農地提供 離農農業者から新たな耕作者への受け渡し 地域の増やしたい、辞めたい等の情報を増やしたい、始めたい方へのマッチングする情報を増やしていきたい。			郡山市農業委員会委員の任期満了に伴い、委員候補者に池上慎一郎氏を推薦します。池上氏は、会社員を経て就農し、施設園芸露地野菜の周年栽培経営を行っており、東部地区の地域農業を担う若手農業者であります。また、地元消防団の班長、青年農業士でもあり若手農業者のリーダー格として活躍されております。本人の抱負に、農業委員の経験を活かし遊休化しそうな農地を早期発見し、農地の集約・集積への取組、若手農業者の問題や課題のパイプ役を果たすとあります。この課題を着実に実行できる人材であると思料致します。
14	伊藤 博文 男 満50歳	農業	5年 あり	水稻	米	水稻470a	認定されていない	福島さくら農業協同組合 郡山市朝日二丁目14番7号 郡山統括センター統括部長 小泉 昭光 71,813人 推薦していない
	H8.4.1~H14.1.31 H14.9.1~H30.2.28 H30.3.1~	湧別町畜産農業協同組合 JA福島さくら 就農	H15.5.1~R3.3.31	郡山市消防団西地区隊	大型特殊、けん引 家畜人口授精師 家畜商	【経営理念】農業の振興と地域社会への貢献～「緑の輝き」 「地域の輝き」～ 【経営方針】より身近に、より信頼されるJAづくりの実践 わたしたちは、地域の農業を振興し、ふるさとのかけがえのない自然を守り、健康で心豊かな暮らしづくりを応援します。そして、愛され信頼されるJAをめざして、誠実に着実に歩みます。	・農業を営む個人、法人で住所・施設・従事する農地の何れかが組合の地区内にある。 ・1年で30日以上農業に従事する個人で住所・施設・農地の何れかが組合の地区内にある。 ・組合の地区内に住所を有する個人。 ・組合の事業を1年以上継続利用している地区外の個人。	
				・地域農業の維持・発展のため一助となれるよう努力したい。	地域における良き相談役			郡山市農業委員会委員の任期満了に伴い、新委員候補者に伊藤博文氏を推薦します。伊藤氏は、JA福島さくら（旧JA郡山市）に入組され約16年間営農指導員を務められ、その後就農されました。現在主に水稻を栽培しており、JA時代の営農指導員としてのスキルを活かし、地域の高齢農業者の受け皿として自ら栽培を請け負って活躍されております。本人の抱負にもある通り、「地域農業の維持・発展のための一助になれば」を自ら実践しております。これからの農業の様々な諸問題等着実に対処できる逸材であると思料致します。

15	渡辺 清助 男 満71歳	デイサービスパート 職員	45年 あり	米、野菜	米、野菜	田190a、畑 50a	認定されていない	福島さくら農業協同組合 郡山市朝日二丁目14番7号 郡山統括センター統括部長 小泉 昭光 71,813人 推薦していない		
	S49.4.1～S52.2 S52.4.1～H.19.1.31 H22.4.1～H29.3.31 R2.8.1～ R5.7.1～	小松ゼノア榎 郡山市農業協同組合 クラブ自動車榎 郡山三穂田温泉デイサービスセン ター パート職員 介護タクシーひばり パート職員	H25～ H27～ H27～ R5.4.1～R6.3.31 H31.4.1～ R6.4.1～	達瀬地区統計調査員 多田野土地改良区総代 荒町、岡ノ内米出荷組合長 荒町、岡ノ内地区世話人 福島県農業共済組合荒町、岡 ノ内地区共済部長 郡山市森林組合 総代予定	JAにいて、営農指導も行っていま したので、米の作付け、野菜の栽 培、繁殖和牛の事ある程度は、指導 することができると思います。 その他に銀行協会の法務と税務の検 定も取っておりますので、JAで行っ ていた税務申告に係る、農家の相談 にも対応することが出来ると思いま す。 令和5年には、トラクターの法律 改正より、持っている機械のロータ リーの長さが普通免許では、乗れな くなり、大型特殊免許（農耕用）を 6月に福島の免許センターでとって まいりました。 8月には将来、令和6年か7年に郡山 市のシルバー人材センターに登録し て市民の皆様のお役に立ちたいと思 い、福島空港公園にて開催された、 研修会に参加して、チェンソーと草 刈り機の資格も取ってまいりまし た。まだまだこれから市民の皆さま に色々協力できるかと思っています。 現在勤務しているデイサービスは、 パート職員で、今勤務している会社 は、月、10日から12日勤務で、会 社の方針で自分の休みの日は、どの 様な仕事をしてもらいたいという会社な ので、農業委員会委員になっても、 会議などには全て参加できるかと思 います。 あと一つ、クラブタクシーに勤務し ていた時に平成23年に運行管理者の 国家試験にも合格しておりますので 付け加えておきます。	【経営理念】農業の振興と地域 社会への貢献～「緑の輝き」 「地域の輝き」～ 【経営方針】より身近に、より 信頼されるJAづくりの実践 わたしたちは、地域の農業を振 興し、ふるさとのかけがえのな い自然を守り、健康で心豊かな くらしづくりを応援します。そ して、愛され信頼されるJAをめ ざして、誠実に着実に歩みま す。	・農業を営む個人、 法人で住所・施設・ 従事する農地の何れ かが組合の地区内に ある。 ・1年で30日以上農 業に従事する個人で 住所・施設・農地の 何れかが組合の地区 内にある。 ・組合の地区内に住 所を有する個人。 ・組合の事業を1年 以上継続利用してい る地区外の個人。			
	JAに勤務しながら、米、野菜、和牛の繁殖をおこない兼業農家として30年 以上行って参りました。JAを途中退職しクラブタクシー（株）に勤務いた しました。 営農指導おこなったり、税金申告の際は税務署の研修を受けて臨時税理士 として、申告の期間には、毎年数人組合員の税務申告の手伝いをしなが ら、その当時の農業の現状を聞き相談に乗った事もあります。 現状は、日々変化しておりますが営農相談、経営の問題など、農家の立場 に寄り添った相談に乗ることができると思います。 JAの発足の際に、一人は万人のために。万人は一人のためにとJAに入組 した際に教育を受けましたが規模の大規模、小規模に関わらず、その方 のケースに合った相談に答えることができると思います。 私の父であります（森治）であります。2019年9月に永眠いたしました が、40年以上に渡って郡山市に勤務して参りました。 その父を長年にわたり、一緒に生活して、郡山市の業務、あり方につ いては、ある程度理解しているつもりであります。 農家、JA農業委員会、郡山市のパイプ役として頑張りたいと思ひ 募いたしました。	郡山市農業委員会委員の職務で最も重要と考えること 農地等の利用の最適化の推進 担い手への農地利用の集積・集約化 遊休農地の発生防止・解消 新規加入者の促進	小規模農家が経営出来なくなり、大規模農家に委託するようになって来ておりま すが、耕作がし易いところは、引き受けるが耕作が難しいところについては、引 き受けない小規模農家も、兼業農家として、経営できるうちは、行方が機械が壊 れば、耕作を放棄してしまふ。 大規模農家においても、大型機械の購入代金、肥料農薬の高騰、人件費の高騰と 必ずしも経営状態がいいとは言えない方が多数いるかと思ひます。 個別に相談会を開催するなど、地元のJAの専門家を交えながら、農業委員会委員 も一緒に各農家と協議出来る場を多く設ける様にしていきたいと思ひます。 各地で農業に新規参入を促進して実績を上げている、地域も沢山出て来ているの を見てきておりますので、情報を頂きながら現地を見学するなど、勉強して参り たいと思ひます。 その中で郡山市の現状を踏まえていい方策を農業委員会委員の皆様と一緒に協議 しながら、実施していければと考えております。	郡山市農業委員会委員の任期満了に伴い、新委員候補 者に「渡辺清助」氏を推薦します。渡辺氏は、会社員 を経て、昭和52年旧JA郡山市に入組され、約30年間主 に営農指導員等で活躍され、現在は水稲・野菜の栽培 を行っており、地域の農業の担い手として積極的に取 り組んでおります。また、多田野土地改良区総代や農 業共済組合共済部長を務めており、地域社会に大きく 貢献されております。本人の抱負に、長年JAで培った 経験を活かしながら、農家と郡山市とのパイプ役とし て頑張るとありますが、この役割を着実に実行できる 人材であると想ひます。						

16	高野 和介	農業	54年	水稻	米	水稻5ha 野菜8a	認定されている	JA福島さくら日和田支店農事組合長連絡協議会		
	男		満72歳					あり	郡山市日和田町字北ノ入66	
								高橋 紀夫	21人	推薦していない
	S45.4.1~ H15.8.1~ H27.4.1~ R3.4.1~	就農 郡山市農業委員会 郡山市農業再生協議会 郡山市水門管理員	R2.4.1~ R4.4.1~ R4.4~		郡山市農協稲作部会日和田支 部長 日和田町宮下町内会長 福島県農業共済組合総代	資格は特になし 稲作では特別栽培米に取り組んで いる。		日和田町管内農事組合員の意志 集約を図り組合運営に反映させ るとともに組合の民主的且つ健 全発展を推進する事を目的とす る。		
	<ul style="list-style-type: none"> 地域の農業後継者の減少、高齢者化の状況を考えれば益々地域計画策定を推進させなければいけない。 農業経営の規模拡大を目指すと共に家族経営農業も大事にする。 多面的機能向上支払い事業を拡大し農村環境をより充実させていきたい。 今までの経験と知識を存分に生かしたい。 			バランスのとれた経営に向け各種情報の共有に努めること。 新規就農者に対するアドバイスをすると共に知識・技術を磨く			これまでの農業経験、役職、実績などから、地域の リーダーとして信任を得ており、過去に郡山市農業委 員会の要職を歴任し、知見を有しており、人望も厚 く、適任と判断される事から郡山市農業委員に推薦し たい。			
17	中尾 一明	農業	54年	果樹(ブドウ)+水稻	水稻、ブドウ	水稻2ha ブドウ2.7ha	認定されていない	中田地区農業再生協議会		
	男		満72歳					あり	郡山市中田町下枝字大平358	
								吉田 善守	13人	推薦していない
	S45.4.1~ H18.8.1~ H22.4.1~H24.3.31 H24.4.1~H26.3.31 H24.5.12~	就農 郡山市農業委員 郡山市認定農業者協議会会長 郡山市指導農士会会長 郡山市東部土地改良区総代	H26.4.1~H27.3.31 H26.4.1~ H29.8.23~		中田町内会連絡協議会会長 南高倉環境保全委員会会長 中田・緑ヶ丘地区防犯連絡会 会長	ブドウ作り、公平性		農業経営の安定と国内生産力の 確保を図り、もって食糧自給率 の向上と農業の多面的機能を維 持するために、経営所得安定対 策等の推進及びこれを円滑に実 施するための行政と農業者団体 等の連携体制の構築、戦略作物 の生産振興と農地の利用集積、 荒廃農地又は遊休農地の再生利 用、担い手の育成・確保等によ り中田地区の円滑な事業推進と 運営を図ることを目的とする。		
	各種団体活動の経験を活かし、より良い農業委員会づくりに積極的に取り 組んで参ります。			耕作放棄地が増加しており、地域の方々と協力しこれらの解消を図るとともに、 担い手の方々への農地の集積を進める。			農業委員として経験豊富であり、地域の実情をよく理 解しており農業委員候補者として適任である。長年の キャリアから、農業委員、農地利用最適化推進委員の 中でも助言する立場であり、リーダーシップを持つ人 柄である。 農業全般について高い見識を有し、様々な問題に対し て臨機応変な対応ができ、また、地域農業や農家事情 に精通していることから、農地集積や耕作放棄地の解 消等、農業委員の業務において必要な人物である。			

18	吉田 直衛	農業	50年	ハウス野菜+水稲	夏秋トマト、ホウレン草、スナップエンドウ	パイプハウス30a+水稲50a	認定されていない	中田地区農業再生協議会			
	男 満68歳		あり					郡山市中田町下枝字大平358			
								吉田 善守	13人	推薦していない	
	S49.4.1～ H15.4.1～ H30.8.1～R3.7.31 R3.8.1～R6.7.31	就農 中山間木目沢集落代表 18期 郡山市農業委員 19期 郡山市農業委員	H29.4.1～H30.3.31	木目沢町内会長	特になし			農業経営の安定と国内生産力の確保を図り、もって食糧自給率の向上と農業の多面的機能を維持するために、経営所得安定対策等の推進及びこれを円滑に実施するための行政と農業者団体等の連携体制の構築、戦略作物の生産振興や農地の利用集積、荒廃農地又は遊休農地の再生利用、担い手の育成・確保等により中田地区の円滑な事業推進と運営を図ることを目的とする。			中田町内会連絡協議会会長、同副会長、JA福島さくら中田総合支店長、郡山市農業委員、郡山市農地利用最適化推進委員、福島県農業共済組合中央支所総代、福島県農業共済組合中央支所長、郡山市認定農業者協議会委員、中田行政センター所長、同副所長
	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の農業の維持 ・遊休農地や耕作放棄地の解消 ・「地域計画」の推進 			農地の適切な運用の指導				野菜中心の専業農家で、農業や農地に関する見識も豊富である。野菜栽培の規模拡大など農業に対し非常に力を入れている。町内会長を務めるなど地域からの信頼も厚い。これまでの経験等から地域の農業について精通しており、また、地域の信任を得ていることから、継続して農業委員を務めていただきたく推薦に至った。			
19	石井 源信	農業	36年	水稲・畜産	米・和牛肥育	水稲17.5ha+20頭(親+子)	認定されている	西田町区長会			
	男 満57歳		あり					郡山市西田町三町目字桜内259			
								松崎 昭	18人	推薦していない	
	S61.4.1～	農業	H7.4.1～R4.3.31 R5.4.1～R6.3.31	消防団西田地区隊所属 石畑 農家組合長		農業機械で大型特殊(農耕)トラクターけん引免許を持っています。得意農業分野は学生時代には牛(畜産課)、社会に出てからは水稲を中心に行っていました。		西田町各区行政の情報を交換し、地域発展のため互いに協力することを目的とする		西田町内の各行政区長等	
	ベテラン農業者、若手農業者、その他農業が抱える問題に向き合い、地域が盛り上がっていくよう努力していく。			人と人との繋がりがだと思えます。コロナでなくなってしまった縦横の繋がりを新しいかたちで作っていきたい。				石井源信氏は地元の西田町で農業による地域の維持・発展のために活動する意欲があり、認定農業者としての豊富な営農経験と知識を有しており、消防団員としての活動で西田町の防災に貢献したことや、農家組合長として石畑地区の農家を支えている経験もあることから、農業委員に適任であるため推薦します。			

第20期 郡山市農業委員会委員の推薦及び応募状況（令和6年3月15日現在）

応募

No.	応募者氏名		職業	農業経営の状況			認定農業者の認定	推進委員への応募	
	性別	年齢		営農年数	営農類型	主な経営作物			経営耕地面積
	職歴(在職期間、職名・役職・委員名等)			地域活動の取組(取組期間、取組内容)			アピールポイント (資格、得意な農業分野など)		
	応募理由				職務で最も重要と考えること				
1	北島 繁和		農業	22年	水稻・そば・果樹	米・そば・プラム	水稻6.5ha、そば1.6ha、果樹21a	認定されている	応募していない
	男	満59歳		あり					
	S58.4.1～S61.3.31 S61.4.1～H4.3.31 H4.4.21～H31.3.20 H14.4.1～ R3.8.1～			郡山市農業協同組合就職 (株)ケーエス就職 フジクリーン工業(株)就職 就農 郡山市農業委員		S59.4.1～ H22.4.1～ H31.4.1～ R2.4.1～	郡山市消防団湖南地区隊所属 湖南町健全育成指導員 三代環境保全組合監事 中山間三代集落庶務		
現在、地域では高齢化が進み、離農している人が多い。離農後も耕作放棄地とせず、農地の集積・集約化を図り、地域の担い手及び新規就農者にスムーズに継承出来るような活動の支援をしていきたい。				農地利用の最適化を図るため、地域の農業者の声を聞き、その地区に最も良い地域計画の策定を率先して作成サポートし、継承する担い手及び新規就農者を中心に農地の集積・集約化・法人化へのサポート、また制度・施策・農業経営等の情報発信をしていくと共に、耕作放棄地を無くすことが重要だと考えます。					
2	先崎 孝太郎		農業	48年	水稻+園芸	米・葉たばこ	水稻4.5ha+葉たばこ1ha	認定されている	応募していない
	男	満73歳		あり					
	S48～ H30.8～			就農 農地利用最適化推進委員		H22～H27 H27～H28 H29.8.30～	田母神中山間地域直接支払事業役員 行政区役員 田母神人・農地プラン代表		
農業新規参入者・後継者促進				中山間地域における高齢に伴う離農の増加による遊休農地の発生防止					

3	安達 真也	自営業	0年	なし	なし	なし	認定されていない	応募していない
	男		満67歳					
	S56.4.1~H3.3.31 H3.4.1~H14.7.31 H14.9.1~H21.2.28 H21.3.1~H31.3.31 R3.5.1~R5.2.28 R5.5.1~R5.10.31	南洋貿易㈱ 日本体育施設㈱ パシフィックインターナショナル㈱ 苫小牧北倉港運㈱ 福島県農業総合センター 郡山市緑豊園	H5.5.1~H10.10.31 R3.4.1~R6.3.31 R5.1.10~ R5.6.1~	熱海公民館石筵分館長 郡山市地域包括支援センター 運営協議会役員 郡山自主夜間中学英語講師 熱海小学校児童見守りボラン ティア	1.持っている資格等：①造園施工管理技士2級 ②英検2級 ③東京農業大学農学部農業拓殖学科卒業。東京農業大学より農作物に関する生物学的・商業的データなどの情報入手、及び大学とのコンタクトも取りやすい状況にあると思います。私は、農業認定者でもなく農業を職業とはしていませんが、大学卒業後、商社勤務をしており、南太平洋地域を中心にいろいろな国を見て回り商売をしてきました。その中で、いろんな国の人々と会話し、お客のニーズを引き出し、適材適所の商売をしてきました。お客の立場を理解し、尊重してきた商売経験は、「農地等の利用の最適化の推進」や「地域計画策定・変更」に大いに役立てることができると思います。また、地域の声を先入観なしに聞き取り、偏りのない意見交換の場を作り、次世代の子供たちに夢と希望のある農業を伝えていくお手伝いができると思います。日本の農業は日本の生活基盤を支える大事な仕事だと考えています。			
	私の住んでいる熱海地区は、年々利用されなくなった水田・畑が増えていて、後継者がいないので農業を辞める人。後継者がいても、農業より町で働くことを選択した若者。もし、農業に魅力があり十分な収入が得られれば農業に従事する若者も後継者も増えてくると思います。全国的に見れば数は少ないけれどサラリーマンを辞めて農業に転職した人たちがいます。それは農業に将来性と魅力を感じられたからだだと思います。私は、このように一人でも多くの人々に農業の魅力と面白さを伝えて日本の農業の発展に役に立ちたいと思います。農業委員は、その魅力を伝えていける最適な職と考え、応募しました。				1. 農地法をよく理解し、適切かつ正しい判断・現場活動ができる事。 2. 各地区を実際に歩いてまわり、その地区の農業事情を詳しく知ること。 3. 各地区の農業従事者及びその関係者との人間関係の構築。 4. 担い手と農業従事者の話をよく聞く事。 5. 農業従事者及びその関係者の利益を最優先に考えること。 以上の5点が最も重要と考えています。			
4	須永 静夫	農業委員	0年	なし	なし	なし	認定されていない	応募していない
	男		満72歳					
	S50.4.1~S53.3.1 S54.4.1~H24.5.31 H24.6.1~H26.3.31 R4.8.1~	アサヒビール㈱研究員 福島県職員(次長) 県緑化推進委員会専務理事 郡山市農業委員	なし		・普及指導員 ・土壌肥料を専門に農業試験場において、研究に携わり、土づくりについて貢献できる。 ・水田農業政策はじめ農政全般について県本庁において携わり、その経験により各種農業施策について貢献できる。			
	全国有数の農業県の中でも中心的な存在である郡山市の農業振興さらには効率的な土地利用に向けて、これまで培った知識を生かし、貢献したい。				・効率的な土地利用を推進し、生産性を向上する。 ・さらには新規就農者を積極的に増大し、活力ある農業を確立する。 ・上部組織及び行政機関に対し、農業振興のため積極的に建議を行う。			